

〔現代日本の混亂〕…項目①から項目②(「祓ひ清めて」喪失化)への變移。以下( )内は吉野注。

項目①(評論『日本および日本人』の指摘)…「近代戰(F)に馴れない(not so called=Eの至小化)人間(即ち「祓ひ清めて和に達する」と言ふ異質な so called手段を持つ人間)が近代的戰爭(F)に手を出した結果が、殘虐不法な戰爭を招來し(似而非近代性=近代化適應異常=D1の至小化)、國家主義(F)に馴れない(not so called=Eの至小化)國家が國家主義をまなんで超國家主義(似而非近代性=近代化適應異常)になつた。同様に、權利義務の契約(Eの至大化)にもとづく個人主義(F)に馴れない(not so called=Eの至小化)人間が、その制度(F)や法律(F)を移入すれば、それはたんなる利己主義を助長する(Eの至小化=D1の至小化)にしか役だたぬのです」(P192上)。

項目②(今日的現況)…文化衰退(D1の至小化)が招く型(祓ひ清めて=美意識)の喪失化(Eの至小化)。即ち、「祓ひ清めて和に達する」—「祓ひ清めて」=既成概念的「和」(美意識摩耗で、形骸化した和)。

